



# 結

2020. 3. 20 No.92

yui

発行「憲法9条の会つくば」

〒305-0005

つくば市天久保 1-10-12 1-401

Tel./Fax 029-856-2286



<http://peace.arrow.jp/tsukuba2/>

## 「3・11から9年、さよなら原発！ 守ろう憲法！ 昼休み集会」 今年も開催できました



「コロナ問題」で自粛ムードが社会に蔓延する中、「3・11」の集会はなんとしてもやりたい、との実行委員会の強い決意で、集会の当日を迎えました。前日の雨は上がって上天気でしたが、強風のためプログラムやプラカード、参加者の帽子などが飛ばされながら、集会は進行しました。主催者挨拶は、実行委員会代表の山本千秋さん、お話は、東海第2原発運転差止訴訟原告団共同代表の大石光伸さん、いばらき原発県民投票の会共同代表の徳田太郎さん、憲法9条の会つくばの阿部真庭さんの3人に、原発立地近隣6市町村の首長に再稼働反対の声を直接届けてきた、常総生協のメンバーの会場からの訴えが加わりました。参加者は約50人、あまり近

づき過ぎないように間隔をあけて立っていただいていたのですが、集会の最後は、参加者全員で集まって横断幕やプラカードを掲げ「団結ガンバロー」の唱和をしました。（翌日の東京新聞に記事と写真掲載）

大石光伸さんのお話の要点を以下に掲載します。徳田太郎さんのお話は県民投票の結果報告と共に6面に掲載します。

### 大石光伸さん(東海第2原発運転差止訴訟原告団共同代表)のアピール

福島原発事故から9年が過ぎ、10年目に入ります。あの「犯罪的な事故」を起こして人々の生活を奪いながら、今、オリンピックを利用して「復興」したかのように宣伝し、原発の再稼働を進めるなど、まさに歴史事実を塗り替える政府・東電の棄民化と忘却の試みを、絶対に許してはならないと思います。

私たちは、これまで8年間、「東海第2原発運転差止訴訟」を闘い、日本原電・東電・政府による「住民の被ばく隠ぺい」を暴露し、設立40年を超え、巨大地震と津波で被災し、事故率が最も多い東海第2原発の再稼働差止訴訟を闘ってきました。今年5月に結審する予定です。しかし、その判決がどうであろうとも、私たちは控訴審を闘い、再稼働工事に抵抗する手段としての「仮処分申立」を行い、裁判戦線は継続する決意をもって闘っています。

今後重要なことは、以下の点を県民に広く知らせ、行動を起こすことだと思います。

- 1) 東海第2原発の構造的危険性、運営する日本原電の信頼性のなさ、事故による放射能被害の実態と厳しい避難の状況、政府・東電の賠償責任の問題(福島の実状)
- 2) 県及び6市村首長懇談会への働きかけ(いずれの首長も、「東海第2原発再稼働については、住民の意向を基にして決めたい」と公言している)
- 3) 日本原電は、すでに再稼働を前提にした工事に着手しています。それらの工事を監視するとともに、日本原電と東海村に工事差し止めを要請する。
- 4) 避難計画の諸問題(避難民を出す市町村だけでなく、避難民受け入れの市町村におけるさまざまな問題)

東海第2原発再稼働問題は、今まさに、県民と、政府・東電・日本原電とが本当に対決する時を迎えていると思っています。みんなで力を合わせ、再稼働阻止を勝ち取りましょう！



## 「アベ政治を許さない」との原点に

「結」前号でも紹介した映画『i 新聞記者ドキュメント』は、アベ政治の“権力の私物化”と“横暴”を多面的に抉り出しました。政権はその後、“桜”問題、IR汚職、検事長定年延長、信じ難い国会対応…等々、統治国家の根幹を成す三権を蹂躪し続け、居直っています。新型コロナ問題も、根拠がない・説明もない“首相判断”という“決め方”の危うさが象徴的に表れています。この状況を一刻も早く終わらせるべく、野党の追及と国民のNOの声を強めていきましょう。「結」今号は、読者の投稿を特集しました。

### 安倍首相、即刻退場を モリ、カケ、サクラを「うそ」「改ざん」

「隠蔽」で逃げ切ろうとする安倍首相。もし、これらの事に私や妻が関わっていたら「首相」も「議員」も辞めます、と国会で表明しました。安倍首相を守るため、閣僚や官僚は国会での野党質問にまともに答えません。「捜査中の案件なので」「人事に関わるプロセスなので」等々、「お答えしかねます」と繰り返す様子を見て、呆れるばかりか恐ろしささえ覚えます。

安倍政権に近いとされる東京地検検事長の定年延長を法の解釈変更で閣議決定し、法務大臣がこれを正当化する。インフル特措法改定で安倍首相が「緊急非常事態」宣言となれば、国民の自由・人権が制約される恐れがあります。

政治の私物化、国民の命と暮らしに寄り添わない政治など、暴走する安倍政権には、即刻退場していただきたいとの思いです。(T.T.)

### 怒りの声

憲法前文の書き出しは、「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し」です。主語は「日本国民」で、述語は「行動し」です。主権は、私たち市民にあります。

現政権は、「特定秘密保護法」「安保法制」「共謀罪」「カジノ法」と、この7年余りに悪法を立て続けに国会で強行採決してきました。モリカケ疑惑、桜を見る会をはじめ、安倍首相の嘘まみれの不誠実さは首尾一貫しています。この人物の言葉は、全く信用できません。自らの暴走をアンダー・コントロールできないこんな危うい人物は、他の国ならば既に何度も政権から追われたはずで。

司法は何のためにあるのでしょうか？ 私たち日本人はあまりにもおとなしいのではないのでしょうか？ もっと怒りを面に出し、現政権を退陣させて、主権を私たちの手に取り戻しましょう。(T.I.)

### 「緊急事態条項」導入に「NO」

今、日本中の話題を独り占めにしている新型コロナウイルス。感染の広がりを「憲法改正の実験台」と捉え、国民の不安心理に付け込むように、改憲勢力がまた「緊急事態条項」を声に出しています。この緊急事態条項の創設は、18年に自民党がまとめた「たたき台素案」にも4本の柱の1つとして盛り込まれています。大規模な災害などの際、法律でなく閣議決定による政令だけで、国民の権利を制限するものです。しかも、自然災害だけでなく、武力攻撃の場合も「災害」に含めているのです。

しかし、現行法でも災害対策基本法があり、憲法を変えなくても災害への対応は十分にできます。肺炎感染に便乗して改憲に持ち込もうとする勢力に、理はありません。キッパリと異を唱え、「NO」突きつけていこうではありませんか！(T.S.)

シンちゃん川柳三句

ボクちゃんが 何でも決める 総理だもん

専門家 そんなの知った こっちゃんない

憲法も ボクのオモチヤだ 邪魔するな

(S・A)



## 安倍政権の大罪と悪巧み

一言でいうと、モリ・カケ、桜を見る「ウソ・改ざ

ん・隠ぺい・ねつ造」の戦後最悪・危険・違憲の政権だ。一連の発言を見ていると、政権に対して憤懣やるかたない怒りが募ります。

安倍長期政権の大罪を見ます。

●六つの大罪＝特定秘密保護法及び共謀罪法の強行採決／集团的自衛権の行使容認／安保法制（戦争法）の強行採決／内閣人事局創設／消費税 10%への増税／桜を見る会の法令違反。さらに、過去 10 人の閣僚の辞任に対する任命責任。

●四つの悪巧み＝改憲の執念／IR法／社会保障改悪／沖縄新基地建設強行。

●国会運営＝閉会中審査無視／野党の参考人招致・証人喚問拒否／野党提案の審議拒否／検事長定年延長問題の閣議決定による解釈変更…。

○私の提言＝中選挙区比例代表制への公選法改正／国論を二分する課題での一般国民投票法の制定／参院を廃止し一院制へ統合拡大／大企業内部留保課税実現／富裕税創設／年金削減中止／消費減税の実現。

(S.O.)

## 「アベコベ」政治を治そう 〈国民〉が主役ではなく〈アベ〉

が主役の「アベコベ」政治。立憲主義の破壊がはなはだしい。「昔陸軍、いまアベ政権」の声まで聞こえてくる。私は戦争体験者ではないが、今の状況を見ているとこの空気が戦争をつくり出していったのかと思ってしまう。

私の考える処方箋は、次のとおりである。

(1) 立憲主義の回復：最低3分の1以上の立憲主義を守る国会議員確保。

(2) 改憲発議反対署名の推進：（「美しい日本の憲法をつくる国民の会」推進の憲法改正署名は、1000万人超え）

(3) 国民投票法の改正：CM規制、成立要件の厳格化等。

処方箋が効くかどうかは、今の政治・暮らしに諦めを感じている人が「諦めない」状況をどのように作り出していくかにかかっていると考える。

(N)



## 嘘の中で生きる社会

森友・加計問題に始まり、勤労統計・桜を見る会等と多

くの嘘について、その嘘をないことにするために政治を動かしてきた安倍政権。なぜ、嘘がないことになったのか？ 小選挙区制によって党内を支配し、内閣官房人事局によって高級官僚を支配し、大手マスコミ首脳と会食を重ねてアベ政権の広報機関に変え、日銀総裁にお友達を起用して株価を支えさせた。トドメは、いくら罪を重ねても起訴されないために、お友達を検事総長に据える方策として東京高検検事長を定年延長した。政治の私物化とその指針が、安倍晋三のお友達（利益）か否かであった。

この内閣に、私たちは7年間も政権を任せてしまった。彼は言う。首相在任の最後の仕事として、憲法を改正し、日本を戦争出来る国にする、と。

今の政治状況を、ある人は「角砂糖をスプーンにのせて紅茶に少し漬けてみる。すると、茶色い液体が染みわたって、角砂糖はグズグズに崩れていく。民主主義や公正が毀損されていくように。」と表現した。また、この状況を「全体主義体制下の社会」と規定して、「権力は自らの嘘に囚われており、そのため、全てを偽造しなければならない。過去を偽造する。現在を偽造し、未来を偽造する。統計資料を偽造する。そして人々は、それを信じているように振る舞わねばならず、それゆえ、嘘の中で生きる羽目になる」と。

この閉塞の中で、憲法が変えられ戦争が出来る国になった時を想像してみよう。権力を批判することすら出来なくなった日本の歴史を、過去が物語っている。

そうならないために残された道は、ただ一つ。市民のための政権をつくること。立憲野党には、早く共闘体制を作ってほしい。この方法だけが、民主主義を欲する市民に残されている。今年か来年の国政選挙が、最後の機会になる。(Y.A.)

## 「国民主権」「憲法」を守る 各

メディアの世論調査では、「安倍政権の下での改憲」に60%近くが反対し、「憲法9条を評価する」は70%に達し、国民世論は9条を高く評価しています。それでも安倍首相は、多くの国民の反対の声を無視して、一部の既得権者のために、改憲の発議に向けて準備を進めています。

憲法には「主権が国民に存することを宣言し」とありますが、今まさに国民主権が瀕死の危機的状態にあります。国民主権は、人類が長い歴史の中で血を流して勝ち取ってきたものです。今までの歴史を無にしないように私たちが戦い続け、安倍を退陣に追い込みましょう。9条改憲を阻止して「憲法を守り」ましょう。(M.A.)

## 憲法9条と私 昭和天皇が亡くなった頃、

一家でバンコクに暮らしていた。それで当地の英字新聞を購読していた。「これで、中曽根をはじめとする憲法改定論者がうごめき始めるだろう」とに記事が出た。憲法を変えようとする人がいるなんて、日本の新聞には書いてなかったぞ。

まもなく、隣のミシェルが陽気に入ってきた。「あんたも憲法改定論者？」と聞くので、「まあ、そこに座って」とそこから汗をかきかき、なけなしの英単語を総動員して、自慢の9条を熱く語った。通じたみたい！彼女はうつむいて小さな声で言った。「私の国（アメリカ）は、戦争を諦めていない。」——「んだよね！おたく、戦争大好きだもんね」という追い打ちは、知性と教養と美貌で飲み込んだ。(A/H/H)

アベ氏に悪態つきたいことが山ほどある。TVに向かって罵詈雑言を浴びせ続けているので、すっかり柄が悪くなった。上品な老婆は諦めた。(トホホ)(A.I.)

## 「健康で文化的な最低限の生活」を 私は、音楽関係の仕事をしております。安倍首相・

自民党は、「なんとかミクス」だとかわけのわからないことを言っておりますが（最近はやわなくなりましたが）、それで景気が良くなったのかどうかは、来る日も来る日も儲からない仕事をしている私たち若者には、何の実感もありません。むしろ悪い方向に向かっていると思います。

クラシックでもラテンでも、コンサートを開催しても若者はほとんど聴きに来ません。来てくれたとしても、音楽大学を目指している人などごく限られています。それくらい、若い人が文化的なことに使える時間とお金の余裕がないのだと思います。

戦争の対極にあるものが、文化だと思います。それは絵画であったり、小説や漫画であったり、スポーツであったり、もちろん音楽もそうです。なかなかそれで生計を立てるのは難しいですが、他の仕事をしていても文化に触れる時間が十分取れるように雇用や待遇改善をするのが、政治のやるべきことなのではないでしょうか。文化を衰退させてはなりません。

また近頃、若い人に投票に行こうと呼びかける人の中に「自分にとって良い政策を掲げている党や候補者に投票しよう」という声も聞きますが、それは間違いです。正しくは「みんなにとって良い政策、そして、あらゆるマイノリティの人を助けられるような党や候補者に投票しよう」です。

憲法25条に書いてある「健康で文化的な最低限の生活」を全ての人が営める平和な世界が訪れるまで、声を上げ続けましょう。いや、その後も黙るつもりはありませんが。(音楽人間)

## アベさんという人 アベさんは、育ちが良くて周囲の人に当たりの良い、良い人なんじゃないかなと想像しています。アキエさんのことも、大事にしているようですし。それに、美しい理想を美しい言葉できっぱり語る、リーダーシップの強い感じが、人気があるし、周りからも支えられ、長期政権を維持しているのかな、と思います。

でも、良いところの坊ちゃんなので、庶民感覚・現場感覚が皆無で、今回のコロナウイルスに関して、現場を混乱させ泣かせることに無頓着。いつもなら現場に配慮する人たちから出る助言が、今回は届かないうちに“英断”してしまったのかな？ 反発が強いを見て、すぐに補足の記者会見するところは、さすがだと思いましたが。

でも、良いところの坊ちゃんなので、庶民感覚・現場感覚が皆無で、今回のコロナウイルスに関して、現場を混乱させ泣かせることに無頓着。いつもなら現場に配慮する人たちから出る助言が、今回は届かないうちに“英断”してしまっただけかな？ 反発が強いを見て、すぐに補足の記者会見するところは、さすがだと思いましたが。

そもそも、総理就任の時、「日本を美しい国にする」という演説をしたのを聞いて、この人はコワイ、本当にコワイと、ゾッとしたのですが、本物の悪い人は悪い顔をしていないという、そのタイプがアベさんなんじゃないかと思っています。(N.S.)

## 「憲法9条の会つくば」の活動から



◆賛同人 2020年3月15日現在

総数 1014名 (市内 726名)

◆改憲発議反対署名 3月18日現在 430筆



### 百里「初午まつり」 2月11日百里平和公園

▼百里基地は、大戦時に海軍航空隊の飛行基地でした。ここから特攻隊が飛び立ち、若い命が亡くなりました。戦後、農地にするために満州からの帰国者などが開墾に入りましたが、1955年、突然ここに航空自衛隊の戦闘機基地が作られることになり、「百里闘争」が始まります。闘いの結果、基地の誘導路がこの公園を避けて「くの字」に曲がった滑走路となりました。そして、公園の正面の丘（軍民共用の茨城空港の旅客ターミナルの脇）には、「自衛隊は違憲」という大きな看板が立てられています。

百里基地は、首都圏防衛のためと言いながら、米軍支援のためのものです。自衛隊は、平和になれば役割がなくなってしまうので、“有事”への緊張を高めようとしています。百里の看板を見た安倍首相は、“自衛隊の憲法明記”に躍起になっています。（後藤）

### カンパのお願い

今年もカンパのお願いをさせていただきます。

消費税が10%に引き上げられ、家計も大変になっている時とは思いますが、金額の多寡は問いませんので、皆様のご協力よろしくお願いいたします。 憲法9条の会つくば世話人一同

#### 支出内訳

「結」関係	250,711
行事関係	101,366
つどい	200,511
3000万署名関係	890
その他	27,755
合計	581,233 ③

口座	381,690
現金	149,341
合計	531,031



当会では毎月第3日曜日に定例署名、9日に9の日署名を行なっています。その他、「戦争をする国づくりNO@つくば」と共に、毎月3日「安倍政治を許さない」スタンディングと署名を行ないます。

### 「安倍政治を許さない」 スタンディング

▼2月のスタンディングは、参加者7名。新婦人、年金者組合、9条つくばのメンバーです。横断幕とプラカードで安部退陣を訴え、チラシを渡しました。今年は暖冬ですが、道行く人の数は少なく、駅前にはひっそりでした。3月3日は「ひなまつり」でしたが、「コロナ問題」で人道りはより少なく、寂しさを感じました。いろいろなイベントや集会在延期・中止になる中、物も言えない世の中になってしまうのではと危惧します。「コロナ問題」を利用した「緊急事態法」先取りは絶対に許すことはできません。3月の参加者も7名でした。新婦人、年金者組合、9条つくばのメンバーでした。（穂積）

### 改憲発議反対全国 緊急署名について

1月から始まった改憲発議反対全国緊急署名用紙を前号（1/18発行）の「結」に同封させて頂いたところですが、3/9現在の署名集約数は430筆です。その内訳は、街頭署名、郵送で送って下さった方（24人、257筆）などです。これまでの国会で改憲発議をさせなかったのは、国民の草の根運動と国会での野党共闘の成果だと思います。引き続き署名を軸に、安倍9条改憲NOの声を広げていきましょう。

（武田）

### 憲法9条の会つくば 会計決算報告

会計年度 2019年1月1日～2019年12月31日

#### 収入内訳

賛同人カンパ（口座）	245,200
賛同人カンパ（現金）	90,000
つどい収入	200,400
その他カンパ	3,000
憲法フェスタバス代徴収	41,250
学習会資料代	27,500
合計	607,350 ①
今期のみ差引残高	26,117
前期より繰り越し（口座）	486,490
〃（現金）	18,424
合計	504,914 ②

差引残高	531,031 ①+②-③
------	---------------



## 2.11 集会

「天皇制はキリスト教にとって受け入れがたい」

根拠なく建国の記念日とされている2月11日、この日のもつ意味を考える集会在、つくばクリスチャンセンター（つくば市東新井）で行われ、当会にも関係団体として参加要請があり、阿部・石上・三浦が参加しました。

集会では、日弁連元憲法委員会委員や安倍首相靖国神社参拝違憲訴訟弁護団長などを務められた、木村庸五弁護士による「キリスト者と天皇制」と題する講演がありました。

集会是日本基督教団の茨城地区の教会関係者に向けて行われたものですが、戦前「大日本帝国憲法」のもとで、天皇が神として国民に押し付けられ、国家が戦争に向かって暴走したことが反省されていない現状が明らかにされ、参加してみて私たち9条の会と一致する点が深いという印象をもちました。

講演では、1) 今般の平成天皇から現天皇への代替わりにかかわる皇室家の私的行事や儀式は、166億円という税金をかけて行われ、国民主権・政教分離を定めた現憲法に明らかに違反していること。2) 明治初期、幕府体制から新政府への政変にあたって、「天孫降臨」「萬世一系」の神話をもとに、天皇が国家統合に利用され、「軍人勅諭」や「教育勅語」によって、天皇のためには命を捨てるべきという教えが国民に押し付けられたこと。3) 靖国神社は、A級戦犯ばかりでなく、天皇のために戦死した人々が「英霊」として祀られていることで、彼らを死なせた側の責任を覆い隠す欺瞞の装置になっている。ここを現代の首相や閣僚・国会議員が参拝することは、この欺瞞を温存し戦前の天皇制の侵略性を再生産することになる。などが指摘されました。

集会では、阿部さんから、当会が「憲法9条を守る」という一点で協同して活動している現状が紹介されました。（三浦）

## 「東海第二発電所の再稼働の賛否を問う県民投票条例制定を求める署名」

県全体の目標数（5万筆）つくば市の目標数（1万筆）を超過達成！

県全体では8万筆超！

9年前の今日、被災して運転を停止した東海第二発電所。私たちは、再稼働に関する意思決定には県民投票が必要であるとして、条例制定に向けた直接請求に取り組んでいます。請求には有権者の50分の1、約5万人の署名が必要ですが、3月10日時点で、約8万筆の署名をお預かりしております。つくば市では、有権者の5%、1万筆を超えました。寒い中での街頭署名や戸別訪問にご協力いただき、ありがとうございました。

直接請求は、憲法第92条に基づく地方自治の、そして民主主義の実践です。一步一步を着実に進めてまいります。署名収集期間は終わりましたが、引き続きのご支援・ご協力をお願いいたします。

（3.11集会 徳田太郎さん発言）

## イ ン フ ォ メ ー シ ョ ン

### ◆つくば中央メーデー

2020年5月1日（金）9:30 集会開始

場所：つくば中央公園

メーデースローガン「働く者の団結で生活と権利を守り平和と民主主義の日本をめざそう！」

### ◆憲法フェスティバル

2020年5月3日（日）10:00～

場所：水戸千波湖畔ハナミズキ広場

メインスローガン「憲法活かして明日を変えよう」  
講演 伊藤千尋さん「15%の市民が動けば日本は変わる」

## 行動予定

※コロナ問題の社会状況の変化により変更する場合があります。

3月21日（土）世話人会・結92号発行10:00～12:30並木交流センター

3月28日（土）憲法フェス実行委員会10:00～水戸・はばたき事務所

4月3日（金）安部政治を許さないスタンディング&署名13:00～TXつくば駅A2出口付近

4月9日（木）9の日署名12:00～13:00アルス前

4月18日（土）事務局会10:00～12:30市民活動センター（予定）

4月19日（日）定例署名12:00～13:00アルス前

5月1日（金）つくば中央メーデー9:30～つくば中央公園

5月3日（日）憲法フェスティバル10:00～水戸ハナミズキ広場

5月9日（土）9の日署名12:00～13:00アルス前

5月16日（土）世話人会・結93号発行10:00～12:30並木交流センター

